

施政方針

2月22日に開会の令和3年第1回
ふじみ野市議会定例会で、市長が表明し
た施政方針を通して、新年度の政策方針
の概要をお知らせします。



ふじみ野市長
高畑 博

昨 年は新型コロナウイルス感染症が瞬く間に世界に拡大し、今なおその勢いは止まることを知りません。日本国内においても、多くの方々が感染し、尊い命が失われてしまいました。改めまして、新型コロナウイルス感染症により亡くなられた方々にお悔やみを申し上げますとともに、罹患された方々に心よりお見舞いを申し上げます。

また、医療機関やさまざまな施設などで、日夜、感染防止対策に尽力されている全ての方々に深く感謝を申し上げます。感染拡大は、人の活動や社会・経済活動、そして生活環境に大きな影響をもたらしました。いまだに感染拡大は続く状況であり、本市におきましても、昨年からさまざまな市の催しや地域の活動も中止などの対応を余儀なくされております。

こうした中、市民の皆さまにおかれましては、一人一人がご自身やご家族、そして周りの方々の大切な命と健康を守るため、感染拡大防止の徹底に向けてご理解ご協力をいただいていることに、改めて感謝を申し上げます。

本市といたしましても、引き続き市民の皆さまが健やかに住み続けることのできる環境づくりを進めるとともに、未来へつ



感染拡大防止周知啓発ポスター



自治組織会長との懇談会

ながる持続可能なまちづくりのために、市民の皆さまと共に歩みを進めてまいりますので、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

確かな未来へつながるまちづくり

と て、昨年から現在に至るまで、本市におきましては「新型コロナウイルス感染症対策本部会議」を重ねて開催し、さまざまな対策を検討し、市民の皆さまや事業者の方々への市独自の支援策などを、いち早く実施してまいりました。

また、国や埼玉県の方針を踏まえ、感染拡大防止に向けた公共施設の利用制限を行う中で、各種団体の皆さまをはじめ市民の皆さまのご理解を賜り、ご利用をいただいています。

この他にも、市で基本的な感染拡大防止の周知啓発ポスターを作成し、商店や事業所などに個別に掲示のお願いをさせていただきました。多くの皆さまのご協力で重ねて感謝を申し上げます。

また、毎年行っておりましてタウンミーティングは、令和2年度は3密を回避するため開

催を見送り、全ての自治組織会長との懇談会を少人数単位で実施させていただきました。地域の実情などを直接お聞きする中で、感染症の影響により地域の催しやサロン活動などを自粛したため、地域コミュニティを維持する上で大変ご苦労をされ、顔の見えない地域の方々の健康を気遣うご意見などもございました。

こうした状況下においては、人と人との接触機会に気を配り、感染拡大防止の徹底を子どもからシルバー世代まで、皆さまにご協力をいただいております。

新しい日常の中で

一方、社会では在宅勤務やオンライン授業などのデジタル技術を活用した遠隔システムの広がりによって、人との接し方が大きく変わりました。コミュニケーションの手段が

少なからず制限される中において、さまざまな人と関わるのがいかに大切か、改めて認識したところです。会えない人、思いやる気持ちや身近な人と協力し合う精神、こうしたことの気付きや経験は、これからの「新

しい日常」の中で大いに生かされ、これまで以上に強い絆で結ばれる地域づくりにつながるものと確信しております。

さて、この1年は、私たちの環境にさまざまな変化がもたらされました。

しかし、どのような状況の中でも、市政の停滞は1分1秒たりとも許されないと、思いの下、令和2年度も市民の皆さまが安心して住み続けられ、次代を担う子どもたちに希望と誇りの持てるまちをつないでいけるよう、一つ一つの施策に丁寧に取り組んでまいりました。

これからも市民の皆さまの満足度がさらに高まるよう、さまざまな施策を展開していくとともに、オンラインを利用した生活スタイルが進む中において、身近な地域に愛着を深めていただけるよう、市民の皆さまと共に協働のまちづくりを進めてまいります。

そして、どんなに時が移ろうとも、市民の皆さまに「住み続けたい、住んで良かった」と実感していただき、ふじみ野市の確かな未来へつながるように引き続き全力で取り組んでまいります。



新型コロナワクチン集団接種シミュレーション

住み続けたい 住んで良かったと実感する ふじみ野市へ

令和3年度の 主要事業

主な事業を、各部ごとに紹介します。

総合政策部

●「オールふじみ野」 未来政策会議

持続可能で発展的な市とするために、SDGsの視点による時代に合った新たな公民連携の仕組みづくりを推進します。

●タウンミーティング

感染症の状況に応じた形で市民の皆さんの声を聞く機会を設け、いただいた意見を市政に反映します。

総務部

●防災訓練の実施

市内全20カ所に避難所を開設する防災訓練を実施し、市民の皆さんと共に防災力の強化を図ります。



●ハザードマップの 外国語対応化

外国人居住者に対し、防災意識の向上と自助支援を図るため、ハザードマップの多言語化を図ります。

●振り込め詐欺被害防止対策

多発する振り込め詐欺被害を防ぐため、自動アナウンスや録音機能を内蔵する対策機器の購入費に対する補助と、被害防止啓発品の配布による注意喚起を行います。

●(仮称)第3庁舎の建替え

(仮称)第3庁舎を建設し、市社会福祉協議会本部事務所や市民団体活動の利便性向上を図ります。併せて交差点に面してポケットパークを整備し、歩行者の安全確保に努めます。

市民生活部

●各種証明書のコンビニ交付

マイナンバーカードを利用して、住民票の写しや各種証明書などをコンビニエンスストアで取得できるようにします。

●ふじみ野ステラ・イースト 魅力発信事業

「ふじみ野市の魅力発信拠点」として4月にオープンしたふじみ野ステラ・イーストで、アーティストなどによる体験教室や文化講座を開催します。

●商工業の振興推進

空き店舗対策や創業支援など、複合的に支援します。

●農業入門塾併設 市民農園の開設

農業に興味のある人が農業技術を習得し、農業を通じて地域コミュニティの形成や農業に対する理解を深めるため、初心者向けの実習や座学講習を実施します。



●農産物地産地消 PR冊子の作成

市内の農作物の収穫情報、農作物直売所マップ、直売イベント情報、学校給食への食材利用状況などを掲載し、広く情報発信を行います。

●特定健康診査の無料化

40歳～74歳の国民健康保険加入者が受診する「特定健康診査」の自己負担を無料化します。



市民活動 推進部

●自治組織などの活動支援

自治組織の運営や加入促進などの各種事業を支援するとともに、集会所などの維持管理に要する費用を補助します。

●市民大学ふじみ野の運営

市民の皆さん、地域および行政が連携・協力して「市民力」と「地域力」を育み、「知の好循環」を目指します。

●(仮称)西地域文化施設の 整備

文化施設基本構想・基本計画の方針に基づき、市民の皆さんの文化活動や生涯学習活動などの拠点施設として、(仮称)西地域文化施設を整備します。

●総合的な相談窓口の充実

日常生活のトラブルや悩みごと・DV・生活困窮などに関する専門家による各種専門相談を行うとともに、問題解決に向け、関係部署との連携を図るため、総合相談窓口としての役割を充実します。

●男女共同参画社会の推進

男女共同参画社会の啓発に取り組む団体に対して、団体の特色や創意工夫を凝らしたまちづくり事業を委託することで、男女共同参画社会の推進を図ります。

●人権問題に対する 教育・啓発活動の推進

同和問題をはじめ、あらゆる人権問題の解決のために、研修会などの啓発事業を行います。

●特定健康診査による 保健指導の実施

メタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)に着目した生活習慣病予防のための健診・保健指導を行います。また、生活習慣病の重症化が懸念される人に、適切な医療受診の勧奨と保健指導を行います。

●重層的支援体制整備への移行準備事業

高齢・障がい・子ども・生活困窮の制度ごとに分かれている相談支援などを一体的に行い、分野を越えた重層的支援体制を整備します。

●生活困窮者等の支援事業

生活困窮者の支援や、複合的な問題解決に向けた連携体制を強化します。

●子どもの学習・生活支援事業

生活困窮世帯などの中学生・高校生などを対象に、学習支援や、生活に関わる支援を進めます。



●基幹相談支援センターの設置

障がい者などの地域における相談支援の中核的な役割を担う機関として、基幹相談支援センターを設置し、相談支援と就労支援を充実させます。

●元気・健康マイレージ および食育推進の実施

市民の皆さんの健康づくりを推進するため、元気・健康マイレージや食育推進などを実施します。

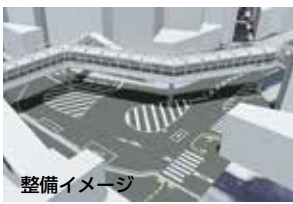
都市政策部

●循環ワゴンの運行

公共交通空白・不便地域の解消を図り、持続可能な公共交通体系を実現するための「市内循環ワゴン」を運行します。本年度は、市民の皆さんと利用者のニーズを把握し、見直しの検討を行うため、アンケート調査を実施します。

●上福岡駅東口駅前広場の整備

歩行者の安全確保を最優先として、橋上駅舎からサンロードへつながる歩道橋を整備し、安全性と利便性を高めます。



整備イメージ

●大井総合福祉センターの空調更新

大井総合福祉センターの空調設備の更新工事を行います。併せて西側地域の介護予防拠点となる（仮称）介護予防ホールを整備し、介護予防事業を展開します。

こども・元気健康部

●新型コロナウイルスワクチン接種体制整備事業

新型コロナウイルス感染症の発症や重症化を防ぐため、市民の皆さんに対し、ワクチンの接種を無料で行います。

●こどもごやちつまちづくり条例（仮称）の策定業務

子どもたちがさらに元気で健康に過ごせるまちづくりを進めるため「こどもごやちつまちづくり条例（仮称）」の策定に向け、条例案を策定します。



●防球ネットの設置

運動公園野球場および第2運動公園の練習用ボードの外側に防球ネットを設置し、公園を安全・安心に利用できる環境を提供します。

●市内公園の更新整備と維持管理

市民の皆さんの憩いの場として安全・安心に集える公園などを維持していくため、維持管理や再整備を行います。本年度は、西ノ原中央公園の大型遊具の整備工事を行います。



●空き家などの発生の予防、適切な管理、活用の促進

空き家の調査や予防に向けた意識啓発などさまざまな取り組みにより、空き家の発生予防、適正管理、活用促進を図ります。

●道路の舗装補修

破損や老朽化の著しい道路・水路・橋などの修繕・補修工事を実施します。また、バリアフリー対策として、街路樹の根による歩道舗装隆起部分を補修します。

●放課後児童クラブ給食サービスの実施

夏休みの間、保護者の負担を軽減し、栄養バランスの取れた給食を提供するため、放課後児童クラブ利用者のうち希望者に対して、あおぞら学校給食センターで調理した給食を提供します。

●多胎産婦サポーター事業

多胎児を養育する家庭に対して、育児支援を行うヘルパーなどを派遣することで、多胎児家庭特有の育児負担感や孤立感の軽減を図ります。

●新生児聴覚スクリーニング検査費用の助成

先天性の聴覚障がいや早期に発見し、早期療育を図ることで、その後の言語発達やコミュニケーション能力の向上につなげることを目的として、新生児聴覚スクリーニング検査の費用を助成します。

●不妊治療費に対する助成の拡充

長期にわたる治療の経済的負担を軽減するため、不妊治療費の助成回数の上限を、同年度内6回までに拡充します。

●亀久保三丁目雨水対策事業

台風などによる道路冠水被害の軽減を図るため、一般下水道管を敷設します。

●市街化調整区域公共下水道（污水管渠）の整備

公衆衛生の向上と公共用水域の水質を保全するため、市街化調整区域で公共下水道未整備の地区から、公共下水道（污水管渠）を整備するための実施設計を行います。

●（仮称）川越江川川崎調整池関連事業

川越市と共同で内水対策を進めるため、公共下水道事業計画を変更し、川崎地内に調整池およびポンプ場整備の準備を行います。

教育部

●公民館における社会教育事業

大井中央公民館・上福岡公民館・上福岡西公民館それぞれで実施してきた社会教育事業を統合し、これまで以上に連携した事業展開を図ります。

●骨髄移植などによる予防接種再接種費用の補助

骨髄移植手術などにより、すでに接種を受けた定期予防接種の抗体が消失または低下したために医師の判断により任意で再接種を受けた20歳未満の人に対し、再接種費用を助成します。

●フレイル予防事業

高齢者特有の健康課題に着目した栄養指導や日常生活の相談などの個別支援を行います。

●オーラルフレイル予防啓発事業

口腔機能の低下や誤嚥性肺炎予防の知識に関する啓発を図るため、76歳を対象にオーラルフレイルの予防啓発と受診勧奨に関するパンフレットを送付します。

●オンラインを活用した相談事業

からだやこころに悩みがあり、外出が困難な人や移動手段の無い人との相談において、より相談者に寄り添えるよう、効果的な視覚情報が得られるタブレット端末を活用したオンライン相談を実施します。

●小学校施設の大規模改造

老朽化した校舎を改修するため、計画的に大規模改造を行います。本年度は西小学校（3年目）とさぎの森小学校の工事、鶴ヶ丘小学校の設計を実施します。

●外国語やICT教育の推進

国際理解教育を推進し、外国語による表現力およびコミュニケーション能力の育成を図ります。また、GIGAスクール構想の実現によるICTを活用した情報教育の推進を図ります。



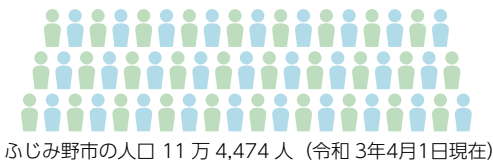
●小・中学校児童生徒への給食の提供

市内の小・中学校に通学する児童生徒に対し給食を提供します。なお、卵・乳に対してアレルギーがある児童生徒には、卵・乳を除去した対応食を提供します。

ふじみ野市の本年度予算が決定しました

歳出

一般会計歳出 ふじみ野市全体
414億7,814万円



一般会計歳出 市民一人当たり
約36万2千円



消防費 市民一人当たり
約1.2万円
(予算額約14億円)

- ・入間東部地区事務組合への負担金
- ・Web版ハザードマップの外国語対応化
- ・防災倉庫の更新および防災設備の充実



その他 市民一人当たり
約0.6万円
(予算額約7億円)

- ・議会の運営
- ・農業、商工業の振興

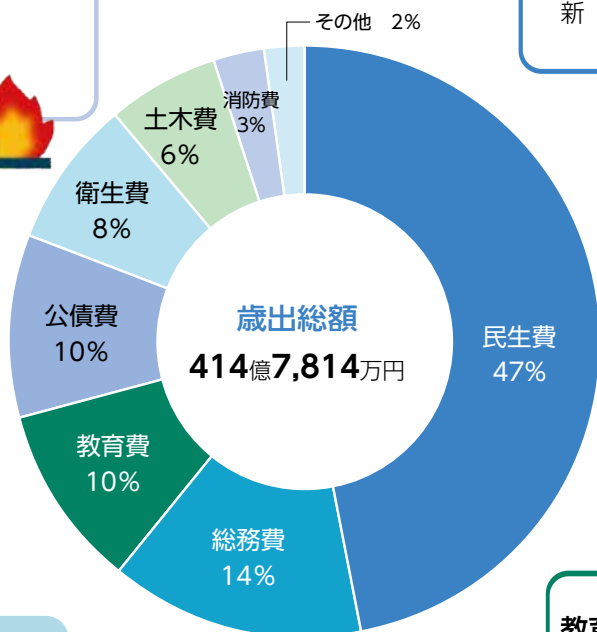
民生費 市民一人当たり
約16.9万円
(予算額約194億円)

- ・幼児教育・保育施設運営支援
- ・放課後児童クラブの運営
- ・大井総合福祉センターの空調更新



土木費 市民一人当たり
約2.2万円
予算額約25億円

- ・上沢勝瀬通り線の整備
- ・上福岡駅東口駅前広場の整備
- ・市内公園の更新整備と維持管理



総務費 市民一人当たり
約5.1万円
予算額約59億円

- ・(仮称)西地域文化施設の整備
- ・(仮称)第3庁舎建替え

衛生費 市民一人当たり
約3.1万円
(予算額約35億円)

- ・ごみなどの処理やりサイクル
- ・新型コロナワクチン接種体制の整備
- ・各種がん検診の実施



公債費 市民一人当たり
約3.5万円
(予算額約40億円)

- ・市債(借金)の返済



教育費 市民一人当たり
約3.6万円
(予算額約41億円)

- ・小学校校舎の大規模改造工事
- ・外国語やICT教育の推進
- ・給食の提供



歳入

皆さんが納めているこれらのお金が市の収入です。

一般会計

- ・市税
- ・学校給食費
- ・公共施設などの使用料
- ・証明書発行手数料
- ・寄附

特別会計

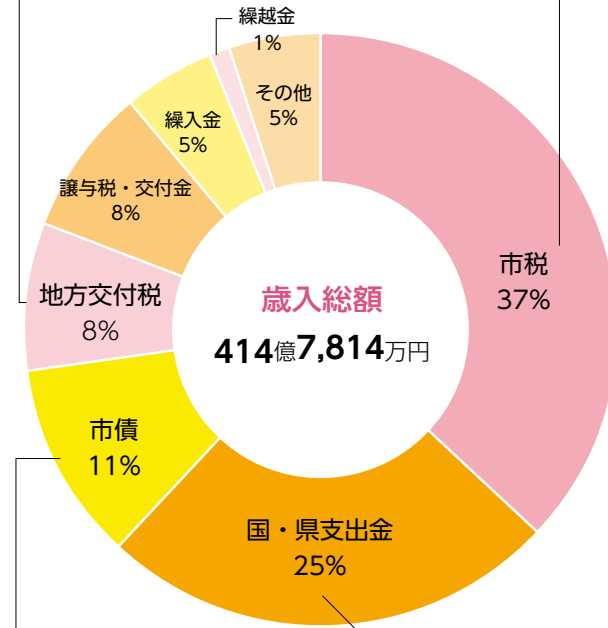
- ・国民健康保険税
- ・後期高齢者医療保険料
- ・介護保険料

企業会計

- ・水道料金
- ・上・下水道使用料

各自治体の行政サービスに大きな差が出ないよう、財政力に応じて国から配分されるお金
予算額35億円

皆さんに納めていただく税金
予算額153億
市民一人当たり約13.4万円



公共施設や道路などを作るときに、国や金融機関などから借り入れるお金
予算額45億円

市の事業に対して国や県から交付されるお金
予算額104億円

市の会計は、一般会計、特別会計、企業会計の3つに分かれています。

一般会計は、市民生活全般にわたる仕事を行うために必要な経費や、そのための収入を管理する会計で、市の会計の基本です。本年度の当初予算額は414億7,813万5千円で、前年度と比較して6,360万円(0.2%)の増額となりました。

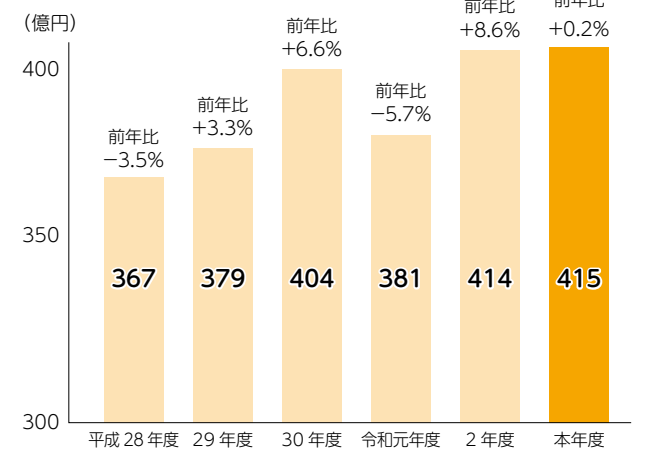
また、特別会計と企業会計は、特定の事業を特定の収入によって行うため、独立した会計を設けて管理を行います。

図 財政課 (TEL 262・9004)

■ 本年度の予算総額

会計	予算額 (前年度比)
一般会計	414億7,813万5千円(+0.2%)
特別会計	185億4,562万8千円(+0.0%)
国民健康保険	90億1,177万6千円(-1.8%)
介護保険	81億3,785万4千円(+1.6%)
後期高齢者医療事業	13億9,599万8千円(+2.5%)
企業会計	32億4,975万7千円(-3.7%)
水道事業	18億8,793万6千円(-5.5%)
下水道事業	13億6,182万1千円(-1.2%)
予算総額	632億7,352万円(-0.1%)

■ 一般会計予算額の推移 (当初比較)



※令和2年度と比較し、(仮称)西地域文化施設整備工事や新型コロナワクチン接種業務にかかる費用などによる影響が増額の主な要因です。